

青島地区住民が地域ぐるみで防犯パトロール(6/24)

(担当：青島北・青島南地区交流センター)

青島地区の安全・安心にかかるすべての団体が組織する「青島地区防犯まちづくり推進協議会」が、今年度、第1回目の駅周辺の夜間の防犯パトロールを実施しました。



出発式は、新型コロナウイルス感染対策により3密を避け、「駅前交番前」と「南口階段付近」の2箇所に分散して実施。

市交通安全・地域安全課長と藤枝警察署生活安全課長などから挨拶があり、士気が高まる中、4地区に分かれて、藤枝駅周辺をくまなく練り歩きました。

防犯協会からの情報によると、昨今、自転車盗難が急増しており、特に、中・高生の盗難が多いとのこと。

この日も、無施錠の自転車が16台、そのうち、後ろに中学校・高校のシールが貼ってあるものが12台ありました。



安心・安全なまちづくりは、地域ぐるみで目を光らせることが大切です。今後も、引き続き注意を呼び掛けてまいります。蒸し暑い中、マスクを着用し汗をかきかきパトロールに参加していただいた約50人の地域の皆さん、本当にありがとうございました。



※この取り組みは平成21年度から継続して行っており、今年度も、約10回のパトロールを実施する予定になっています。